

# serendipity

進路室だより 第3号

2018年 7月 9日(月)  
北見北斗高等学校進路指導部  
文責：横岡・片平

## ◆ 体育祭・文化祭終了。気持ちを切替え、今週末の模擬試験に臨みましょう！

体育祭、全校応援、そして文化祭が終わりました。3年生が中心となって、全校生徒が一体感を持って創りあげ、達成感を味わえたのではないのでしょうか。体育祭・文化祭は、普段の授業とは違うことも学べる場です。皆さんはどんなことを学びましたか。

さあ、**今日から気持ちを切り替えて、学校生活を送りましょう。**

さて、今週末には、全学年で **必修模試** が実施されます。体育祭や文化祭の準備と並行して、しっかりと学習活動に取り組んでいたかが問われます。この模試は記述式、自ら答えを作り上げ論述する形式です。採点者に伝わる記述をしないと、得点にはなりません。

【1年生】「**進研総合学力テスト(7月回)**」が、**7月14日(土)**に行われます。

国数英の模試です。高校入学時からの学習内容がどれくらい定着しているかを自分自身でしっかりと把握し、改善へのヒントを得ましょう。また、この模試は、全国の進学希望者の多くが受けます。2年半後の受験では、その全国の高校生がライバルとなります。校内順位という小さな視点ではなく、全国の中で自分がどの位置にいるのかを意識しましょう。

【2年生】「**進研総合学力テスト(7月回)**」が、**7月14日(土)**に行われます。

国数英の模試ですが、1年生より問題量が増え、時間も延び、難易度も高くなります。今までの学習内容(特に2年生で学習した事項)がどれくらい定着しているかを自分自身でしっかりと把握し、改善するための具体策を考えましょう。

なお「11月回」からは「理科」と「地歴・公民」が加わります。

【3年生】「**進研7月記述模試**」が、**7月13日(金)～14日(土)**に行われます。

6月に行われた「進研6月マーク模試」と、ドッキングの判定となります。3月の「駿台高2マーク模試」や「スタディサポート」で浮き彫りになった課題や、3年生で学習している内容の定着度合いをしっかりと確認しましょう。**マーク式より記述式でこそ、自分自身の実力が問われます。**

模試受験後は、すぐに**復習**を始めましょう。以下に、模試の復習の仕方の一例を示します。

○英語：長文は、一読して理解できなかった文について、英文解釈(文構造の正確な把握)を行い、音読を繰り返して定着させましょう。語彙力も高めましょう。

○数学：問題を解く上で間違った箇所と、その改善法を考えましょう。また、教科書傍用問題集や参考書で、力を伸ばすのに必要な問題にもう一度挑戦しましょう。

社会生活は日々これ戦い、日々これ苦難。  
その時に心が動揺するかしないかは、信念の有無で決まる。  
(松下幸之助)

## ■ **夏期実力養成講座** を積極的に利用！

**1年生＝5日間(国数英)、2年生＝6日間(国数英理)、3年生＝5日間×2クール(全教科)**

「実力養成講座」は、進路実現に向けて「実力」を伸ばすためのものです。つまり、自分がわかるレベルの問題に取り組んで、「できた～♪」と満足するための時間ではありません。また、北斗高校の授業についていくのが困難な生徒のための「補習」でもありません。ですから、**各講座の難易度は、皆さんにとって、やや難しめ**となっています。実力養成講座では、各担当教員が練り上げた課題を用意しています。やや難しめの問題に向き合っ、あれこれと深く考えながら予習や復習をすることで、受講した効果が出ます。

講座受講について、以下の点に注意してください。

- 自分の予定等をしっかりと確認をして、受講の申込をしましょう。
- 講座期間は、講座の予習・受講・復習を最優先させましょう。
- 予習→受講→復習のサイクルに丁寧に取り組むことが、進路実現の必要条件の一つです。楽な方向(例：大変だから予習せずに、講座で答えを書き写すだけ)に流れないようにしましょう。
- 使用教室の清掃(黒板をキレイにする、机・椅子の整頓をする、ゴミ箱のゴミを塵芥処理室へ捨てに行く)など、次にその教室を使う人やその教室のクラスの生徒たちのために、自ら進んで行動しましょう。

## ■ **各学年へのメッセージ**

～1年生へ～ 7月模試を終えると、教科選択・学習法ガイダンスが行われます。自分の進路をしっかりと見据えること。また、ここで聞いたことと、前期中間試験や模試の反省とを踏まえて、自らの行動を改善しましょう。そして、どの教科のどの分野をどのように勉強して伸ばすのか、具体的な夏休みの学習計画を立てましょう。

～2年生へ～ 夏休みは、オープンキャンパスにいく生徒が多いでしょう。現役の学生と対話をする、自分の志望に関して多面的に考えられるようになります。夏期実力養成講座では、理科が加わります。理科は学習内容が膨大な量になります。復習をしっかりと、習ったことをこの講座期間の中で確実に定着させましょう！

～3年生へ～ 7月12日(木)に河合塾校舎長による進路講話をしっかりと聞きましょう。夏に向けて気持ちを引き締めて下さい。また、6月マーク模試の結果を十分に振り返り、「どの科目のどの分野を何点上げるために何をどうする」という具体的な取組を、担任の先生と話し合いましょう。それに基づいた夏休みの学習計画を立てましょう。「勝負の夏」をしっかりと乗り越えましょう！

## ◆ 第1回保護者対象進路ガイダンス終了

ここ数日来蝦夷梅雨と思われるあいにくの曇り空の中、蒸し暑い体育館で150名を超える多くの保護者の方々に参加頂き、進路ガイダンスを実施しました。

冒頭、このガイダンスに関わる質問がいくつか寄せられており、片平による説明からスタートしました。質問のうちいくつか触れておきます。

①子供のレベルに合う大学。  
今現在の学習レベルで大学を選ぶのではなく、今後の努力や学力の伸びを考慮に入れて目指すべき目標を定めて欲しい。

②面談について。  
夏休みを軸に担任の先生による二者面談、あるいは三者面談を行います。

③1年生の英語の対応について。  
新入試への対応は学校としても急務と考えています。昨年度までは希望者への実施であったGTECを12月上旬に1年生全員必修で取り組むことにしています。

次に、今後受験期を迎える3年生との関わり方について少しアドバイスをさせていただきました。

説明変わって、進路指導部田中克貴からは、本年度受験最新情報を中心に話をしました。

1・・・国公立大学の例と、道内での偏差値を軸とした大学の紹介。道内の大学では目指す大学の差が激しいことから、全国に視野を広げることを勧めていること。

2・・・センター試験は北見工大で1/19・20に実施。緊張を伴う長い2日になるため、受験体力が必要であること。

3・・・国公立大学入試の仕組み。「前期」が本命大学であること、「前期」「中期」「後期」が同時出願であること。

4・・・私大の例と、私大入試のポイントとして、センター利用での難関大合格は難しいので、一般受験を軸に考えること。難関大学以外では利用し合格できる可能性もある。しかし、受けすぎると、受験料の問題もあること。

5・・・本年度のトピックとして、文系が志願者を増やしていること。入学定員を守らせる文部科学省の指導により、早稲田大学等首都圏にある難関の私立大学では、合格者を大幅に減らし難易度が上がっていること。理工系や文系を問わず大きなくくりで入試を行う大学が増えていること（入学後に学ぶ中身を定める）。AO入試が増加しているが、一定の学力も求められるなど、決して楽な受験ではないこと。

6・・・推薦入試は公募制と指定校がある。いずれも合格＝入学を保証しなければならない。指定校は大学から推薦依頼がくる各高校独自のもので、公募制より合格の可能性は高い。いずれも推薦委員会で審議・選考し推薦者が決定される。また、メリットもあるが、最大のデメリットは、一般受験にとって一番大事な10月11月頃の時期に小論文や面接の練習を行うことで、受験に失敗したときの準備が不十分となる可能性があること。

説明は再び変わって片平から

①文部省管轄外大学の簡単な紹介

②公務員就職については時間の関係でほぼ資料のみの紹介

③必要な費用として 見えにくい部分として2つ  
受験時期に受験旅行の費用、合格後には新生活に向けて一人暮らしの家（アパート）・テレビ・パソコン・洗濯機・冷蔵庫・掃除機・電子レンジ・ベッド・教科書・学生生協の委託金・自転車などで80万くらい必要になること。

④模試に関わる返却時期と心構えについて、6月マーク模試は自己採点が終了していること。去年の例をあげ、平均するとセンター本番に向け北斗生は+130ぐらい伸びている様子がわかる。このことは、今後、伸びてゆく可能性があることを表している。しかし、+184から-93の生徒もいる。ここからの心構えと取り組みが大事。北大受験 560程の生徒が約130点伸ばし合格してる。6月マーク模試同じ点数でも不合格の生徒もいることに注意！

⑤模試返却時の声かけとして判定に目を向けるのではなく、科目の頑張っている部分に視点を。

⑥夏の面談に向けて、道外受験の可能性、浪人の可能性、私大進学の可能性について担任の先生と相談して欲しい。

⑦1年生：生活をリズムよく。（3点固定）

⑧2年生：オープンキャンパス等で目標（夢）を定める。

⑨最後に受験に向けた声かけの例を紹介しました。

**1、2年生の保護者の方を対象とした第2回保護者対象進路ガイダンスは7月27日（金）実施予定です。よろしくお願ひします。**